

自動化で未来を拓く

第98期 株主通信

2017.4.1～2018.3.31



代表取締役社長 梶本 一典

株主の皆様へ

平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社第98期（2017年4月1日から2018年3月31日まで）の営業の概況及び決算内容につきましてご報告申し上げます。

事業報告

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用情勢や所得環境の改善から堅調に推移した個人消費が牽引役となり、緩やかに回復いたしました。企業収益は、好調な内需に加えて輸出の拡大により改善が進み、生産能力増強や合理化・省力化に向けた設備投資が増加いたしました。

また、海外経済は、米国では良好な雇用情勢が持続したことで、個人消費は堅調に推移し、企業の生産活動は拡大が続きました。欧州では金融緩和策などから回復に向かいました。中国では政府の抑制策によりインフラ投資の伸びは鈍化したものの、個人消費が下支えし底堅く推移いたしました。

このような状況のもとで、当社グループの当期における連結業績は、売上高115,700百万円(前期比23.1%増)、営業利益12,472百万円(前期比30.2%増)、経常利益12,469百万円(前期比27.6%増)、親会社株主に帰属する当期純利益9,142百万円(前期比31.4%増)となりました。

なお、当期の期末配当金につきましては、1株当たり20円とさせていただきます。また、昨年12月にお支払いした中間配当金1株当たり17円と合わせて、年間配当金は1株当たり37円となりました。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

対処すべき課題

当社グループは、平成29年3月期よりスタートとした中期経営計画『Challenge CKD 2018』による中長期的な経営戦略の下で、次のとおり対処すべき課題に取り組んでおります。

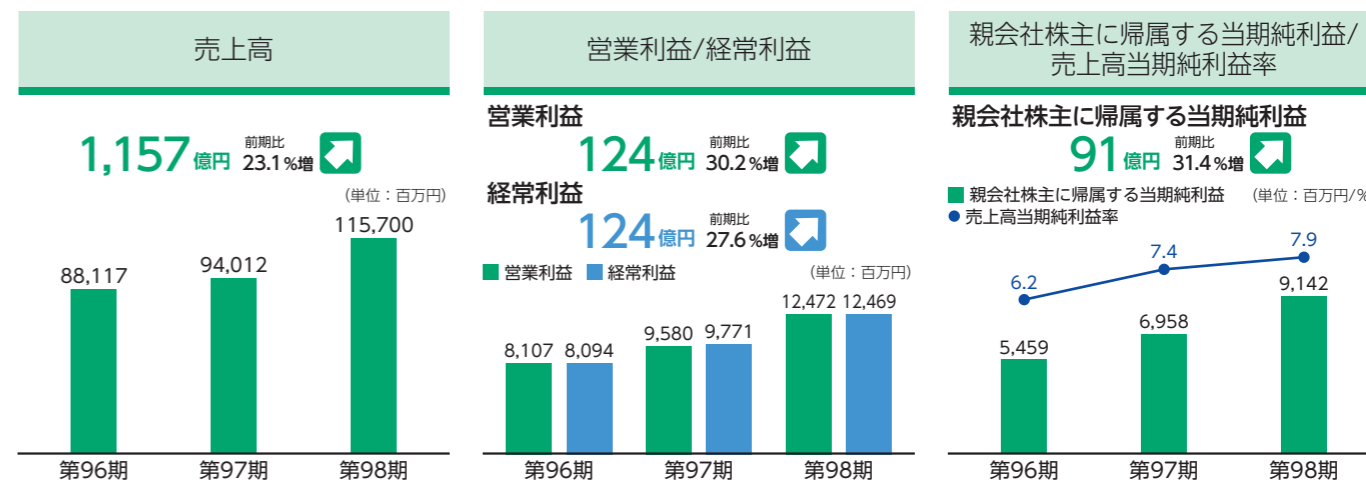
世の中の変化を新たなビジネスチャンスととらえて、新事業への取組みと新市場に向けた商品開発に挑戦しております。世界中で普及が進むIoT化には、通信機能やセンサー類の強化をするとともに予防保全用商品を開発するなど、商品の高度化にて対応しております。

当社が培った国内TOPクラスの商品を、積極的に海外のお客様に紹介し、グローバルに事業を拡大しております。自動機械は、医薬品や食品の自動包装システムをグローバルに展開できるよう、商品の対応と販売及びサービス体制を強化しております。機器は、特定用途向け商品や業界ニーズ対応商品を、米国や欧州の先端産業に展開できるよう、販売と技術のサポート体制を強化しております。

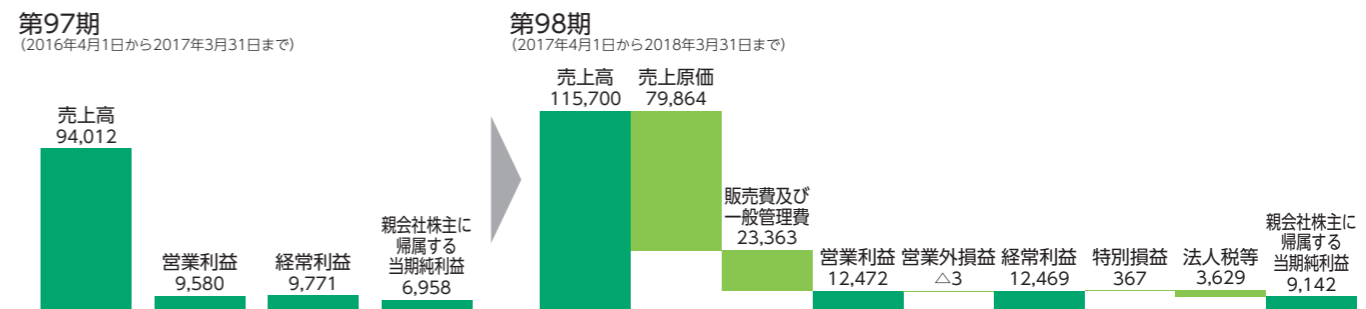
今まで築いてきたアジア地域の事業基盤に加え、中南米やインドなどの新興国にも新たな基盤を構築し、米国と欧州では、よりお客様に満足いただけるよう基盤の強化を進めております。

財務情報

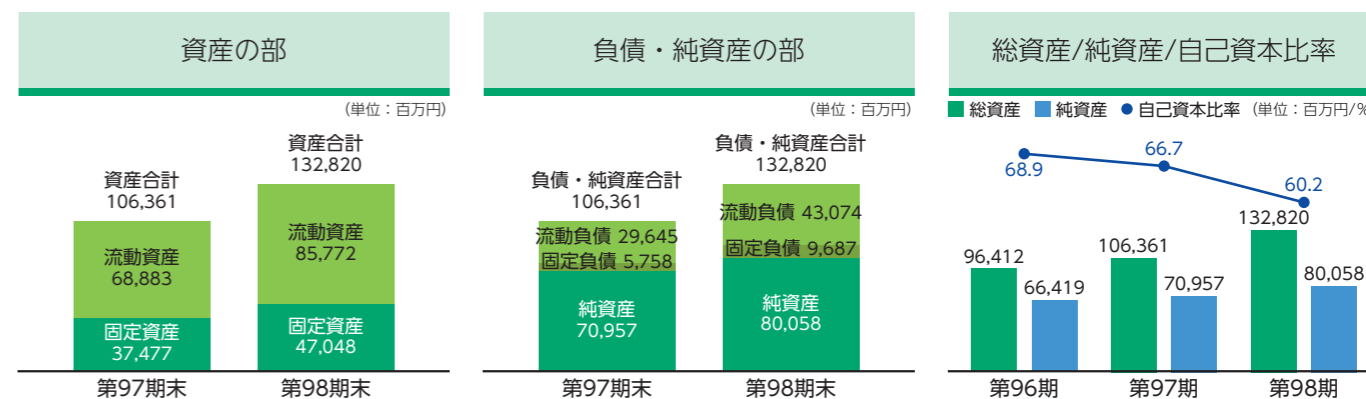
業績推移



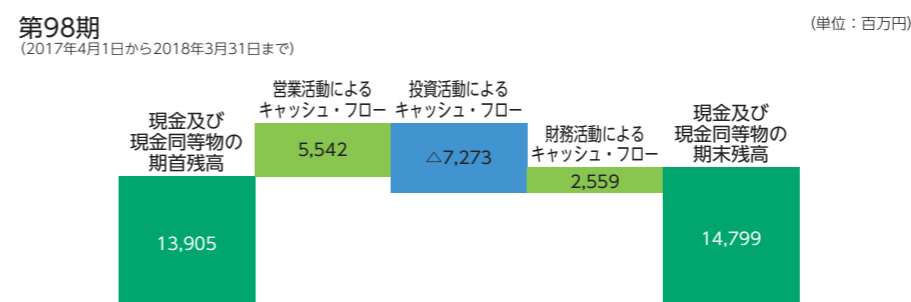
損益の状況 (単位：百万円)



資産、負債・純資産の状況



キャッシュ・フローの状況



トピックス

TOPICS 1 インライン検査機「フラッシュパトリ FP-Uシリーズ」

薬品包装機に内蔵される検査機「フラッシュパトリFP-Uシリーズ」を発売いたしました。錠剤シート毎にカットした後の位置やシート印刷のズレを、±1mmの精度で検査することが可能となり、錠剤情報を記録したバーコードが切れて正しく読み取れないことや、錠剤の品質を保持する密閉性の低下を防ぐことができます。また、測定したズレ量をデータ化することで生産性の向上につながります。



TOPICS 3 窒素ガス精製ユニット「NSシリーズ」

空気中には約80%の窒素が含まれています。この空気から窒素と酸素を分離し、最大99.9%の高純度の窒素ガスを精製できる窒素ガス精製ユニット「NSシリーズ」を発売いたしました。窒素ガスは、食品の加工や包装工程、レーザー加工機など酸化防止や防爆用途を始めとして、幅広い用途で使用されています。一般的にはガスボンベなどにより供給され、補充や交換作業等が必要となりますが、「NSシリーズ」は圧縮空気があれば利用することができ、手軽な窒素ガスの供給を可能としました。



TOPICS 2 ダイヤル付スピードコントローラ「DSC-Cシリーズ」 iFデザイン賞2018 受賞

ダイヤル付スピードコントローラ「DSC-Cシリーズ」が、国際的に権威のあるiFデザイン賞2018を受賞いたしました。この製品は直付スピードコントローラで世界最小を目指して開発され、小型化により生じる操作性の悪さと見えづらさを解決するデザインといたしました。世界中への拡販に加え、今後もデザインにおいても魅力ある製品を開発してまいります。



TOPICS 4 キャリアブルエアサプライユニット「ASU-S」

オフィスや研究施設には、工場の製造現場のような大容量のコンプレッサーを備えた圧縮空気の供給設備がなく、静穏、清浄な部屋の雰囲気や害さない小型設備へのエア供給が求められています。このような要求に応えるため、静音なコンプレッサーと、フィルタ、レギュレータ、バルブ等をキャリアケースにコンパクトに一体化し、簡単に持ち運びができる「ASU-S」を開発いたしました。小型設備へのエア供給用のみならず、工場外など、多様な場面で圧縮空気が利用できるようになります。



TOPICS 5 東佑達自動化科技との共同開発

台湾の東佑達自動化科技股份有限公司（以下「TOYO」）と電動アクチュエータの共同開発を開始いたしました。近年、グローバルな規模で工場のFA化やIoT化が加速しており、電動機器のニーズが高まっています。CKDが得意とするモータ制御技術と空気圧シリンダのコア技術をTOYOの電動機器に盛り込むことで、競争力のある商品のスピーディな展開と、これまで以上に幅広い顧客ニーズへの対応が可能となり、より一層のビジネス拡大を図ります。なお、共同開発の促進と更なる関係強化のために、TOYOに対し約5億円を出資し、10%にあたる株式を取得いたしました。



TOPICS 6 企業内託児所「'Ohana nursery school (オハナ ナーサリー スクール)」開所

従業員が子育てをしながら安心して働くことができる環境づくりの一環として、本社・小牧工場内に企業内託児所「'Ohana nursery school (オハナ ナーサリー スクール)」を開所いたしました。「'Ohana (オハナ)」はハワイ語で「家族」を意味し、入所者は従業員の家族であり、会社の家族であるとの思いを込めています。また、会社の正門横に配置し、全社員から愛され、より良い会社の風土を生み出すシンボリックな存在になってほしいと願っています。



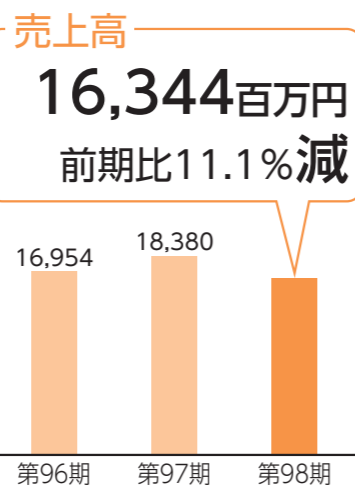
部門別の状況

自動機械部門

自動包装システムでは、国内のジェネリック医薬品向け設備投資が縮小したため売上が減少いたしました。

産業機械では、リチウムイオン電池製造システム、三次元はんだ印刷検査機ともに売上が増加いたしました。

その結果、売上高は16,344百万円(前期比11.1%減)、セグメント利益は売上の減少、研究開発費の増加及び第2四半期連結会計期間に発生した保守点検費用の影響もあり1,176百万円(前期比44.1%減)となりました。

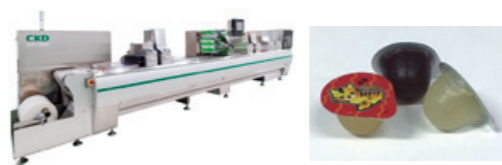


自動包装システム

薬品包装



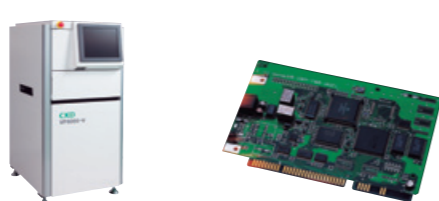
食品包装



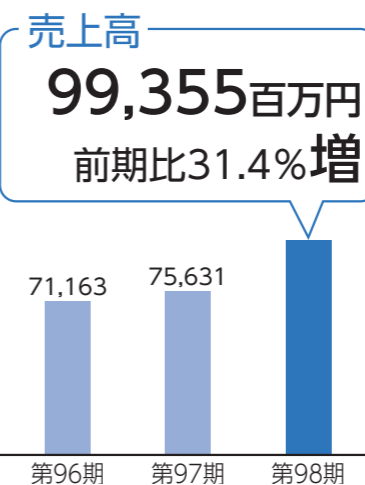
リチウムイオン電池製造システム



三次元はんだ印刷検査機



機器部門



国内市場では、微細化や3Dメモリーへの投資が続く半導体製造装置向け、内外需ともに好調な工作機械向けやFPD製造装置向けの売上が増加いたしました。

海外市場では、半導体の設備投資が好調な韓国、情報通信機器や二次電池に加えて自動化などの設備投資が続く中国を中心に売上が増加いたしました。

その結果、売上高は99,355百万円(前期比31.4%増)、セグメント利益は15,831百万円(前期比41.5%増)となりました。

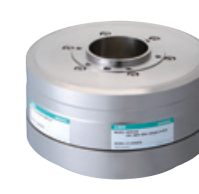
ファインシステム機器



流体制御機器



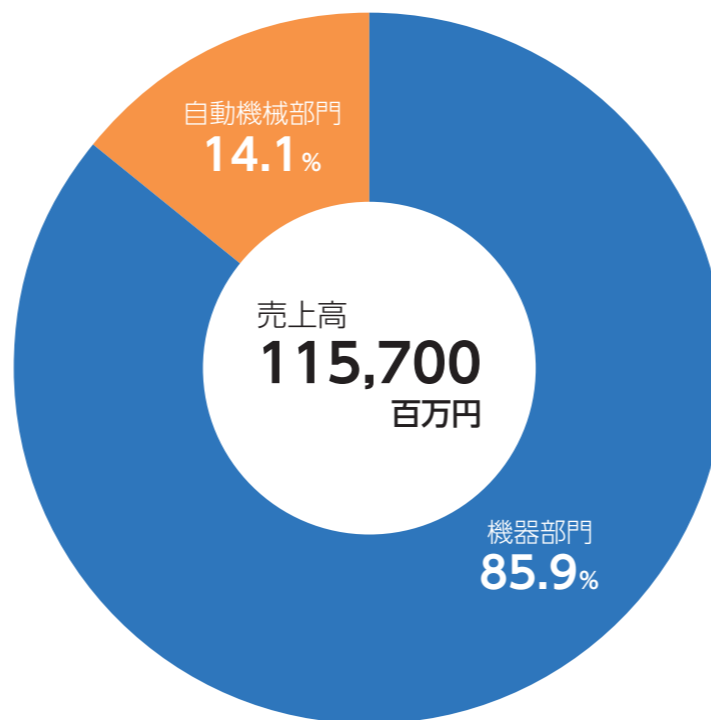
省力機器



電動アクチュエータ



空気圧機器



会社情報・株式の状況

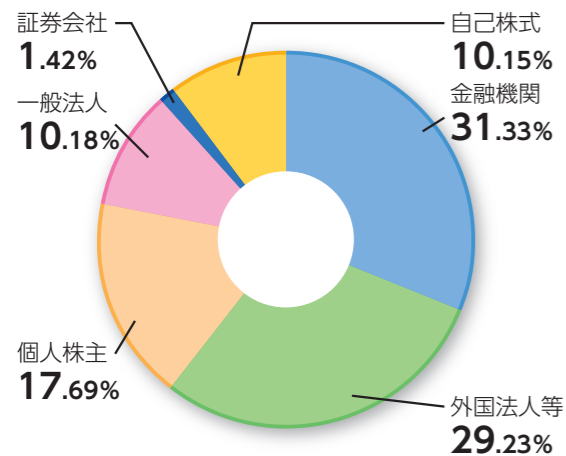
会社概要 (2018年3月31日現在)

社名 CKD株式会社
 設立 1943年4月2日
 資本金 11,016,380,748円
 本社 〒485-8551
 愛知県小牧市応時二丁目250番地
 代表電話：(0568) 77-1111
 従業員数 2,248名 (連結4,284名)
 主要な事業内容 自動機械装置及び省力機器、空気圧制御機器、駆動機器、空気圧関連機器、ファインシステム機器、流体制御機器など機能機器の開発・製造・販売・輸出

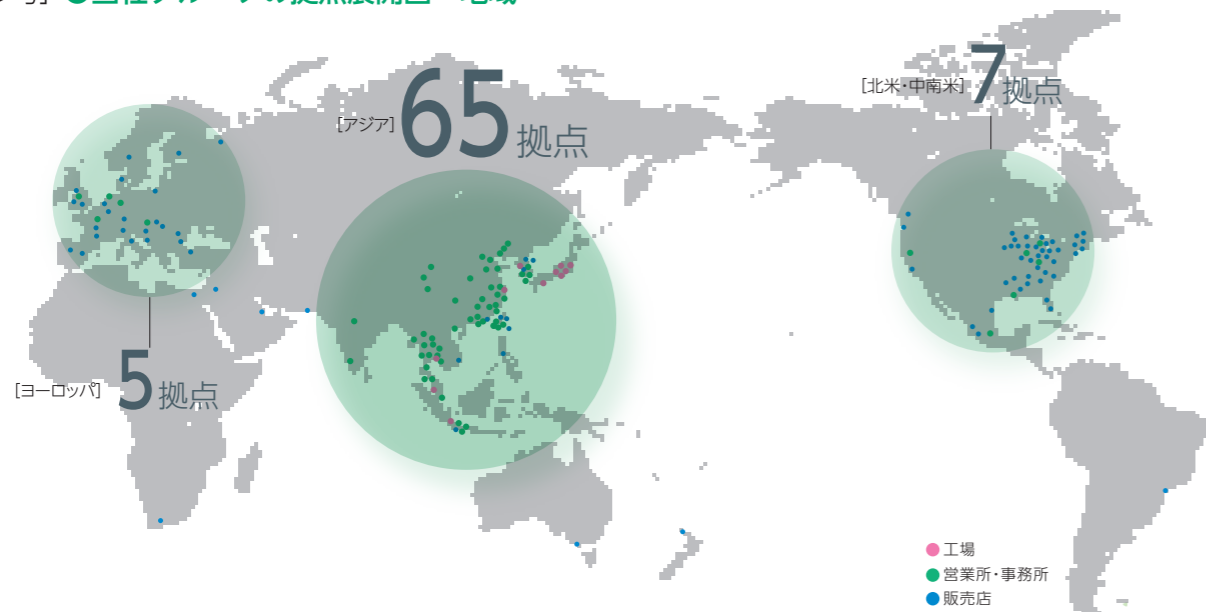
株式の状況 (2018年3月31日現在)

発行可能株式総数 233,000,000株
 発行済株式総数 68,909,449株
 株主数 9,731名

所有者別株式数の分布



[ご参考] ●当社グループの拠点展開国・地域



役員 (2018年6月22日現在)

取締役
 代表取締役社長 梶本 一典
 取締役 奥岡 克仁
 取締役 奥岡 雅文
 取締役 湯原 真司
 取締役 加川 純一
 取締役 浅井 紀子
 取締役 植村 和正

執行役員
 常務執行役員 奥岡 保
 執行役員 湯原 西尾
 執行役員 野澤 高橋
 執行役員 山内 市村
 執行役員 岩田 福井
 執行役員 新寺 岡田
 執行役員 林田 克仁
 執行役員 雅文 司
 執行役員 真司 也
 執行役員 純一 令也
 執行役員 紀子 卓也
 執行役員 和正 理明
 執行役員 大森 繁一
 執行役員 林 直毅
 執行役員 南谷 武
 執行役員 澤泉

監査役
 常勤監査役 大森 繁一
 社外監査役 林 直毅
 社外監査役 南谷 武
 社外監査役 澤泉

大株主 (2018年3月31日現在)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	3,826	6.18
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	3,210	5.18
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	3,189	5.15
CKD持株会	2,751	4.44
BBH FOR MATTHEWS JAPAN FUND	2,551	4.12
住友生命保険相互会社	1,914	3.09
株式会社三井住友銀行	1,581	2.55
CKD協力企業投資会	1,572	2.54
第一生命保険株式会社	1,400	2.26
三井住友海上火災保険株式会社	1,210	1.96

(注) 上記持株比率は自己株式を除いて計算しております。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月開催
基準日 定時株主総会 毎年3月31日
 期末配当金 毎年3月31日
 中間配当金 毎年9月30日
 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

公告の方法 当社のホームページに掲載する。(https://www.ckd.co.jp/japanese/ir/bspl.htm)
単元株式数 100株
上場証券取引所 東京証券取引所及び名古屋証券取引所 市場第一部 (証券コード6407)
ホームページアドレス https://www.ckd.co.jp/
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所 (郵便物送付先) 名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) (ホームページアドレス) ☎ 0120-782-031
<http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしております。特別口座についてのご照会は、上記の電話照会先をお願いいたします。

株主還元情報

株主優待制度

株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、当社株式への投資魅力を高め、より多くの方々へ当社株式を中長期的に保有していただくことを目的として株主優待制度を導入いたしました。



■対象となる株主様

毎年3月31日現在の株主名簿に記録された当社株式100株(1単元)以上を保有されている株主様を対象といたします。

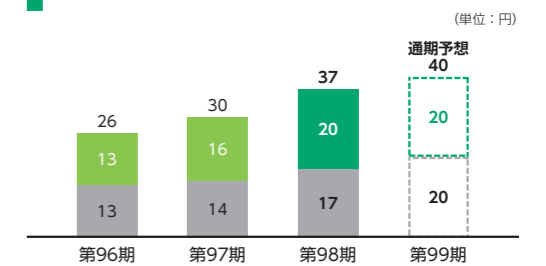
■贈呈時期

毎年6月下旬の発送を予定しております。

■株主優待の内容

保有株式数	優待内容
100株以上500株未満	クオカード 500円分
500株以上1,000株未満	クオカード 1,000円分
1,000株以上	クオカード 2,000円分

配当金



配当方針

当社は、株主の皆様への利益還元につきましては、経営基盤の充実と更なる事業拡大のための設備投資や研究開発投資等を実施することにより、企業価値の向上を図るとともに、株主還元についても安定的な配当を基本方針としております。

